

感染症発生状況

令和6年7月12日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和6年7月1日（月）～7月5日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 404名 【職員】 10名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 80名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（187名）、咳・鼻水（97名）、下痢・腹痛（30名）、発疹（6名）
疾病別：手足口病（60名）、気管支炎・肺炎（35名）、溶連菌感染症（17名）、ヘルパンギーナ（10名）

【職員】 症状別：熱（4名）、咳・鼻水（1名）
疾患別：新型コロナウイルス感染症（1名）

**夏の流行感染症の手足口病が流行し始めました。
その名の通り、手足と口内に発疹が出現する感染症です。
発疹や便からのウイルス流出で接触感染します。
患者の唾液と手足の接触部とおむつ処理時は充分アルコール消毒しましょう。**

【症状別の発生状況】

手足口病 河南地区で増加しました。
気管支炎・肺炎 盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。
溶連菌感染症 河北地区、都南地区で増加しました。厨川地区、盛南地区で減少しました。
ヘルパンギーナ 河南地区で増加しました。

【県の状況（6/24～6/30）】

腸管出血性大腸菌感染症の集団感染の報告がありました。O111が検出されています。主な症状は腹痛、水溶性下痢及び血便です。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症等の重症合併症を引き起こすことがあり、小児や高齢者では特に注意が必要です。経口感染のため、予防には流水と石けんによる手洗いを励行すること、十分な加熱調理等食品の衛生管理が重要です。

夏はダニ類の活動が盛んになるので、ダニ媒介感染症に気を付けましょう。県内では今年はずつが虫病の発生が3例ありますが、国内ではほかに回帰熱、ライム病、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生がみられます。野外で活動する際は、肌の露出を少なくし、虫除け剤を使用する、帰宅後はすぐに入浴する等のダニ類に刺咬されない対策が重要です。発熱、発疹、頭痛等のほか皮膚に特徴的な刺し口がみられた場合は、早期に受診しましょう。

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点当たり患者数は4.57人となりました。県内のクラスターの発生は3件で、その内訳は教育保育施設2件、学校1件でした。引き続き手洗い、咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認をお願いします。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】